

研究協力をお願い

練馬光が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

後期高齢者の熱中症入院とフレイルティの関連性：後ろ向き観察研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年から2023年、各年の6月から9月の間、熱中症で入院した75歳以上の後期高齢者

2. 研究目的・方法

熱中症は高温多湿な環境に長時間いることで、体温調節機能に障害し、高体温になる疾患です。屋外だけでなく屋内でも発症しうる疾患であり、エアコンの有無など生活環境も発症に関わる疾患です。逆に言えば、環境要因に起因する疾患でもあり、予防可能な疾患ということも特徴的な疾患です。

高齢であること自体が熱中症のリスクになります。そして、高齢者の中には身体所見が低下したり、心理社会的な活動に衰えがあるフレイルティ/虚弱というグループがあります。フレイルティの人たちは入院というイベント1つで身体機能低下を引き起こす脆弱な群であり、入院に伴う身体機能低下のリスクも伴っています。しかし、熱中症による入院がフレイルティ/虚弱にどのような影響をもたらすか検証された文献はこれまでにありません。本研究では過去に練馬光が丘病院に入院した75歳以上の後期高齢者を対象に、熱中症入院とフレイルティの関連性を調査する後ろ向き観察研究を行いたいと考えています。

研究期間

練馬光が丘病院の倫理委員会にて審査後、委員会から発行される結果通知書の承認日より、実施機関の長の研究実施許可を得てから～2025年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、基礎疾患や併存疾患、入院中の経過や転機、検査内容、身体機能、フレイルティ/虚弱の程度

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：練馬光が丘病院 総合救急診療科 総合診療部門

氏名：原田 拓

住所：東京都練馬光が丘 2-5-1

電話番号：03-3979-3611

研究責任者：練馬光が丘病院 総合救急診療科 総合診療部門 原田 拓